

Contents

1. 全日本大学対抗選手権大会のご案内
2. インカレに向けて 主将抱負
3. 夏合宿を振り返って
4. 第62回早慶定期戦結果
5. 国際競技会結果・報告
6. 競技会成績
7. リレー寄稿 あの先輩はいま
8. 1年生との対話会を開催
9. 訃報
10. 第29回バーベル会結果
11. 山内俊夫先輩「旭日重光章」を受章
12. 年会費納入のお願い



東日本学生個人戦で大会記録を更新した
柏木麻希選手（スポーツ科学部4年）

全日本大学対抗選手権大会のご案内

今年度のインカレ（第64回全日本大学対抗選手権大会・第19回全日本大学対抗女子選手権大会）が以下のとおり開催されます。皆さまぜひご来場いただき、ご声援くださいますようお願い申し上げます。

期日：12月14日（金）～16日（日）

会場：埼玉県上尾市 スポーツ総合センター

上尾市東町3-1679

JR高崎線「上尾駅」東口より徒歩25分/タクシー10分

日程	階級	選手名	補欠
12/14 (金)	10:40 M56kg	知念勇斗（スポーツ科学部4年）	
	11:55 W48kg	鈴木梨羅（スポーツ科学部2年）	新川百音（スポーツ科学部3年）
	W53kg	安嶋千晶（スポーツ科学部4年）	奥村紀香（スポーツ科学部1年）
	13:25 M62kg	吉田旭（社会科学部3年）	上野大瑚（スポーツ科学部1年）
	16:50 M69kg	木村勇喜（スポーツ科学部2年） 知念勇樹（スポーツ科学部2年）	生頼啓暉（スポーツ科学部3年）
12/15 (土)	10:40 M77kg	永迫竜矢（スポーツ科学部4年）	田中裕也（スポーツ科学部3年）
	12:40 W69kg	戸田妃乃子（スポーツ科学部2年）	西村深聡（スポーツ科学部1年）
	W75kg	柏木麻希（スポーツ科学部4年）	後藤虹海（社会科学部1年）
	15:55 W90kg	田中季恵（スポーツ科学部4年）	前田早菜（社会科学部2年）
	W+90kg	佐熊汐梨（社会科学部1年）	
17:30 M94kg	神田悠斗（社会科学部4年）		
12/16 (日)	10:40 M105kg	池田祐介（社会科学部4年） 岡村幸尚（社会科学部1年）	

インカレに向けて 主将抱負

今年度のインカレに向けて男子・女子主将から抱負をいただいておりますのでご紹介します。昨年に続き早稲田にとって実り多い大会となるよう、また男女揃っての活躍を期待します。

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年の最終戦であるインカレが刻一刻と近付いてまいりました。部員の気持ちも高まり、日々の練習も一段と気迫のこもった様子となっております。

毎年4年生の引退試合となるこの大会ですが、私自身が引退する立場となると様々な感情が入り乱れて複雑な気持ちになります。練習後の「ご苦労さん！」という掛け声をすると、この幸せな日々の終わりに一歩ずつ近づいているなと感じ、寂しくなります。また、「感謝」と「もっと強くなりたい」との思いは日に日に増していきばかりです。

部長・監督・コーチ陣、OB・OGの皆様、ご父母の方々、そして私が主将として未熟な故に、たくさん迷惑をかけたのに一生懸命ついてきてくれた部員達には感謝の念に堪えません。その感謝を胸に最後のインカレでは主将らしく全力で挙げます。また、チーム一丸となり全員が全力で戦い抜きます。

最後までご声援のほどよろしく願いいたします。

男子主将 神田悠斗（社会科学部4年）

『声援』

それは、勇気を与えるもの。

それは、誰もが送ることができるもの。

そしてそれは、人に送ることによって、自分にも返ってくるもの。

早稲田の強みは個性と自律だと私は考えます。みんな違ってみんないい。お互いの違いを認め合う。そして、自分自身で考えて行動する力がある。

昨年に引き続き今年も「インカレ優勝・連覇する」という目標を立て、新チームとして動き出した当初は、みんなの歩みも目指す方向もバラバラでした。しかし、厳しい練習に取り組み、怪我や自分の弱さと向き合いながらともに時間を過ごす中で、選手ひとりひとり、そしてチームとしても少しずつ成長してきました。いよいよその成果が試される時がきます。

皆さんの暖かい声援が私たちの心の支えになり、力となっています。私たちは皆さんに恩返しができるよう、そして、勇気と感動を与えられるように、全力でインカレに挑み、全員で勝利をつかみとります。応援よろしく願いします。

女子主将 田中季恵（スポーツ科学部4年）

夏合宿を振り返って

夏合宿は3年連続で清水NTCで行いました。合宿には、オリンピックの池畑大様がゲストコーチで参加して下さったり、BBQや久能山登山などのイベントもあったりと、思い出深い時間を過ごすことができました。

普段なかなか寝食を共にできない私たちが、一週間共に共同生活をし、強くなるためと良いチームになることだけを考えたこの期間を通して、何だか少し早稲田がひとつになった気がしました。

この4年目の合宿を通して、私は改めて同じ場所を目指してくれる仲間がいてくれることの有難さ、心強さを実感しました。

合宿中の練習はハードで苦しかったけれど、仲間のおかげで乗り越えられ、楽しかったとまで思えます。この仲間と一緒に同じ場所に向かって苦しみながらも楽しめるのも残りわずかです。負けたくない。

この仲間と目指した場所に、必ず全員で立つために、この合宿で得たものを忘れず、インカレまで取り組んでいこうと思います。

安嶋千晶（スポーツ科学部4年）



第62回早慶定期戦結果

9月29日、早稲田キャンパス体育館において、第62回早慶ウエイトリフティング定期戦が開催されました。池田祐介選手（社会科学部4年）が+94kg級でスナッチ141kgの大会新記録をマークし大会を盛り上げました。団体戦は早稲田140点：慶應61点で早稲田が勝利し、60回目の優勝を果たすとともに連勝記録を55に伸ばしました。

試合後には染谷記念国際会館で恒例の懇親会が行われ、両校の健闘を称え親睦を深めました。

第62回早慶ウエイトリフティング定期戦								
	56	62	69	77	85	94	+94	合計
W	21	21	21	21	15	20	21	140
K	9	9	9	9	15	10	0	61



大会新記録を成功させた池田祐介選手

はじめに、早慶戦の開催にあたりご協力いただきました皆さま、また応援にお越しいただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。OB・OGの皆様をはじめ多くの方の支えもあり、今大会をもちまして団体戦55連勝と60勝を達成することができました。

また、私ごとではありますが、今大会で+94kg級スナッチの大会記録を塗り替えることができました。前記録保持者は私が1年生の時の4年生の先輩であった菅野さんの140kgでした。菅野さんは私の憧れであり、目標の先輩でした。その先輩の記録を塗り替えることができ、とても光栄に思います。また、来年は階級が変更となることから今回の記録が早慶戦史上に永遠に残るものであること、早稲田大学ウエイトリフティング部の部員として誇りに思います。

12月に行われるインカレに向けてより一層精進してまいりますのでご声援のほどよろしくお願いたします。

池田祐介（社会科学部4年）

国際競技会結果・報告(1/2)

今年、7月にウズベキスタンで行われた世界ジュニア選手権に木村勇喜選手（スポーツ科学部2年）・鈴木梨羅選手（スポーツ科学部2年）・戸田妃乃子選手（スポーツ科学部2年）の3名、9月にポーランドで行われた世界大学選手権に知念勇斗選手（スポーツ科学部4年）・鈴木梨羅選手の2名が出場しました。うち世界大学選手権において知念勇斗選手と鈴木梨羅選手が揃って優勝し、早稲田として海外遠征で初となる「金メダル」を持ち帰りました。

2018 IWF Junior World Championships								
階級	選手名	学部 学年	BEST				TOTAL	
			S	順位	J	順位	記録	順位
M62kg級	木村勇喜	ス2	110kg	12位	133kg	14位	243kg	13位
W48kg級	鈴木梨羅	ス2	69kg	10位	95kg	3位	164kg	5位
W69kg級	戸田妃乃子	ス2	80kg	11位	100kg	12位	180kg	11位



私は7月に行われた世界ジュニア選手権に62kg級の選手として出場しました。今大会は昨年に続き2度目の出場でしたが、海外で初めての本格的な試合ということもあり、緊張や慣れない環境への対応が上手くいきませんでした。ラストアップまでは絶好調だったのですが、いざ本番のプラットフォームに立ってみるとSnatchでは1本目を失敗し、C&Jでは1本目は軽く成功したものの2本目・3本目を失敗してしまいました。終わってみれば2本成功でTotalは予選大会と比べ7kgの243kgで、目標であった「予選大会の記録を超える」からは程遠い結果となりました。

他大学ではありますが、56kg級の平井選手や69kg級の山根選手とは昨年の大会でも同じユニフォームを着て戦った仲間同士ですが、今大会で両選手とも入賞を果たし、嬉しい反面、悔しい気持ちもありました。自分は早生まれのため来年も出場資格があります。階級は変更されますが、「二度あることは三度ある」まずは来年も同大会に3度目の出場、試合結果では「三度目の正直」一年遅れにはなりますが、入賞を目標に今後も競技に取り組んでいこうと思える大会となりました。最後になりましたが、今大会においてご支援くださった皆様、ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

木村勇喜（スポーツ科学部2年）

世界ジュニア選手権の応援をいただきありがとうございました。目標としていたトータル200kgどころか、とても恥ずかしいとんでもない試合をしてしまいました。肩の痛みがあり十分な練習ができていなかったことありますが、ウズベキスタンに入ってから腰を痛めてしまい、試合前に思ったような重量を触っておくことができませんでした。

それらが試合の結果にしっかり出たなと感じています。選考記録の197kgを挙げていれば6位入賞もできたのに、パフォーマンスを試合当日に合わせることができなかった点が欠陥でした。私自身の世界ジュニア選手権に向けた準備の仕方が悪かったことが全てであり、結果に反映しました。また、今振り返ってみると必要以上に緊張していたと思います。相手や時間、重さを気にしすぎて心に余裕がなく、全く楽しいと感ずることができませんでした。

この経験を活かして、試合準備では無理したりしないことやいつも以上にいつも通りにこだわって、何より楽しくを大事に一からやり直し頑張っていきます。ありがとうございました。

戸田妃乃子（スポーツ科学部2年）



国際競技会結果・報告(2/2)

2018 FISU World University Championships								
階級	選手名	学部 学年	BEST				TOTAL	
			S	順位	J	順位	記録	順位
M56kg級	知念勇斗	ス4	101kg	2位	128kg	1位	229kg	1位
W48kg級	鈴木梨羅	ス2	68kg	2位	93kg	1位	161kg	1位

世界大学選手権大会に56kg級で参加しました。本大会に出場するにあたり、インカレが時期的に近いという事もあり、自身の持つ試合又は自己ベストに近い重量に挑戦し、インカレに向けて良いイメージを持つといった目標を掲げて試合に挑みました。

開催国がポーランドで、2015年の世界ジュニアウエイトリフティング選手権大会で一度訪れた国でしたので比較的気軽に渡航することができ、試合結果も前回訪れた時よりも良い結果を出そうと意気込んでました。

結果は、Snatchは自己ベストに近い重量まで挑戦できたのですが、C&Jに関しては自己ベストには程遠い記録となりました。でも、久しぶりの国際大会出場で緊張しているなか最初から最後まで全ての試技を楽しみながら自分らしく行うことができ、また表彰台の一番高いところに立つことができたので、12月のインカレに自信を持って臨めるような試合になったと思います。

知念勇斗 (スポーツ科学部4年)



皆様こんにちは。2年の鈴木梨羅です。私は今年、二度国際大会に出場させていただきました。

7月にウズベキスタンで行われた世界ジュニア選手権では目標にしていたことが実現し、ジャーク競技で銅メダルを獲得することができました。

試合当日はBグループに配置され、後半のAグループの選手にどれだけ絡んでいけるか、見えない敵との戦いでした。そのなかで6本の試技を全て成功させ、トータルで試合での自己新記録を出せたことが目標達成に繋がった要因だと思います。

また、9月にポーランドで行われた世界大学選手権ではスナッチ競技で銀メダル、ジャーク競技とトータルで金メダルを獲得することができました。

私にとって初のヨーロッパ遠征であり、時差や食事、環境の違いに戸惑いながらも国際大会で勝利できたことは大きな自信になりました。しかし、まだまだ課題が多くあるため、弱点を強みに変え、更なる飛躍を目指していきます。

最後になりましたが、OB・OGの皆様、いつもご支援いただき誠にありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

鈴木梨羅 (スポーツ科学部2年)



なお、世界大学選手権での活躍がIWFの情報誌 WORLD WEIGHTLIFTING に掲載されておりますのでご紹介します。記事全文は以下のWebサイトをご覧ください。

https://issuu.com/iwf.net/docs/iwf_145_eng_web (コンテンツの38-39ページ)

競技会成績

第46回 東日本大学対抗戦

階級	選手名	学部 学年	体重	BEST						TOTAL			合計 得点
				S	順位	得点	J	順位	得点	記録	順位	得点	
M56kg級	知念勇斗	ス4	55.4	98kg	5位	4点	125kg	5位	4点	223kg	5位	4点	12点
M69kg級	木村勇喜	ス2	62.8	109kg	7位	2点	131kg	6位	3点	240kg	6位	3点	8点
	生頼啓暉	ス1	68.5	104kg	9位	0点	130kg	7位	2点	234kg	8位	1点	3点
M77kg級	知念勇樹	ス2	71.5	114kg	9位	0点	153kg	4位	5点	267kg	6位	3点	8点
	永迫竜矢	ス4	76.65	115kg	7位	2点	149kg	6位	3点	264kg	8位	1点	6点
M85kg級	田中裕也	ス3	78.9	116kg	10位	0点	116kg	9位	0点	232kg	10位	0点	0点
M94kg級	岡村幸尚	社1	92.75	119kg	8位	1点	148kg	8位	1点	267kg	8位	1点	3点
M105kg級	池田祐介	社4	101.9	125kg	8位	1点	161kg	7位	2点	286kg	7位	2点	5点

第15回東日本新人ウエイトリフティング選手権大会

階級	選手名	学部 学年	BEST				TOTAL	
			S	順位	J	順位	記録	順位
M69kg級	生頼啓暉	ス1	103kg	4位	141kg	1位	244kg	2位
W53kg級	奥村紀香	ス1	66kg	1位	77kg	2位	143kg	1位
W58kg級	小堀美穂	社1	55kg	5位	70kg	5位	125kg	5位
	山口千尋	ス1	65kg	2位	88kg	2位	153kg	2位
W63kg級	後藤虹海	社1	68kg	2位	91kg	1位	159kg	1位
W69kg級	西村深聡	ス1	74kg	2位	98kg	2位	172kg	2位
W90kg級	佐熊汐梨	社1	70kg	1位	93kg	1位	163kg	1位

第42回東日本学生個人ウエイトリフティング選手権大会

階級	選手名	学部 学年	BEST				TOTAL	
			S	順位	J	順位	記録	順位
M62kg級	吉田旭	社3	92kg	7位	116kg	7位	208kg	7位
M69kg級	大原魁斗	社4	95kg	11位	120kg	9位	215kg	9位
M85kg級	田中裕也	ス3	110kg	8位	135kg	13位	245kg	10位
M94kg級	神田悠斗	社4	110kg	9位	140kg	8位	250kg	9位
M105kg級	池田祐介	社4	131kg	3位	158kg	7位	289kg	4位
W75kg級	柏木麻希	ス4	91kg CR	1位	109kg CR	1位	200kg CR	1位

第63回全日本学生新人ウエイトリフティング選手権大会

階級	選手名	学部 学年	BEST				TOTAL	
			S	順位	J	順位	記録	順位
M62kg級	上野大湖	ス1	86kg	8位	111kg	6位	197kg	8位
M69kg級	西野溪心	ス1	111kg	4位	125kg	10位	236kg	7位
	生頼啓暉	ス1	108kg	7位	145kg	2位	253kg	3位
M94kg級	岡村幸尚	社1	115kg	7位	150kg	6位	265kg	7位
W48kg級	奥村紀香	ス1	60kg	1位	70kg	1位	130kg	1位
W53kg級	山口千尋	ス1	68kg	2位	83kg	2位	151kg	1位
W58kg級	小堀美穂	社1	55kg	4位	70kg	3位	125kg	3位
W63kg級	後藤虹海	社1	72kg	2位	90kg	2位	162kg	2位
W69kg級	西村深聡	ス1	77kg	2位	102kg	2位	179kg	2位
W90kg級	佐熊汐梨	社1	70kg	2位	91kg	2位	161kg	2位

【学部表記凡例】 ス：スポーツ科学部 社：社会科学部

リレー寄稿 あの先輩は今

今回は9月の早慶定期戦に参加して下さった昭和49年卒・鷲田徹夫先輩に筆を執っていただきました。

・・・あれから半世紀

昭和49年（1974年）卒・鷲田です。

早稲田と荒川車庫（都電32番線）を結ぶ都電の駅前で育った幼い頃の私にとって、「早稲田」は学校ではなく都電の終着駅でした。昭和37年（1962年）早稲田中学に入学した頃の早稲田界限は、古本屋と雀荘・定食屋・喫茶店・下宿屋ばかりが目立つ地味な学生街でした。今も残る天婦羅金城庵の前を10年通学しました。低層住宅の街並みが、大隈講堂を重厚な存在感ある建造物として際立たせていました。最近閉店した「三廟庵」と云う蕎麦屋（堀部安兵衛が決闘前に酒を引っ掛けた店・・・と早中卒の店主が自慢してた）から早稲田通りを馬場に向かう坂の途中（穴八幡の対面）には「全線座」というエロ映画・実演ストリップ専門の映画館がありました。看板・写真が新しくなる度に遠回りして見に行くのが刺激的で楽しみでした。平凡パンチが創刊されたのもその頃でした。

早稲田高校の頃、二文に通う吉永小百合を数回見かけました。映画で見るより小柄で色黒でしたが、清楚で気品ある美しさは私の下半身を奮わせる程でした。今では安部球場（現・国際会議場）もなくなり、道路も拡張し、雀荘等は影を潜め、小洒落た喫茶店、イタリアン、拘りラーメン、マンション、カラオケ店が目立つ街に変貌しました。同期・岡田文男と私の母校早稲田中学・高校の校舎も今や校門だけが昔のままです。

当時のウエイトリフティング部は合宿後、試合後、新入部員歓迎会、予餞会の度に部員一同が居酒屋二階座敷に集い、飲み、歌いました。カラオケのない時代、アカペラで、得意不得意、巧い下手に関係なく半強制的に雰囲気と気合で歌っていました。殆どの部員が同じ歌を4年間、飽きもせず歌いました。



7月・和歌山県立体育館（全日本マスターズ）にて向かって一番右が鷲田先輩

- レ メルボルン五輪4位・ローマ五輪失格（記録なし）の大沼賢治監督は『さらばローマ』をイタリア語で
- レ 高橋ゴリ主将は両腕を腰に当て、目を閉じて『カスバの女』、時々『人生劇場』
- レ 現役時代歌わなかった徳橋副将が卒業後の新潟合宿の時、ちょっとカッコつけて淡々と唄った拓郎の『イメージの唄』
- レ 岡崎先輩×誤『化注射』→○正『カチューシャ』
- レ 中山先輩『#いつか、ある日、山で死んだら・・・b』初めて聞いた山男の唄、歌詞がストレートに心に響きました。
- レ 秋葉先輩『野ばら』ゴツゴツ聞こえるドイツ語で
- レ 牧野先輩は酒は飲まず、歌も唄わず牛乳を飲み続けてました
- レ 発音の悪いガナリ声で『MY WAY』、『知床旅情』は岩永先輩（藤本・前川・水谷・田中・成田諸先輩は記憶、記録なし）
- レ 正木先輩は大僧上の説教の如く『一寸では些か短し、二寸では憎からず・・・ち○ぼ法蓮華経』・・・チン（ビール瓶で打つ御鈴の音）
- レ 我が同期・小柳は鋭い眼光、健さんになりきって『唐獅子牡丹』
- レ 上手くはないが学生らしい歌唱法で田原『琵琶湖周航の歌』
- レ 出足が曲名から始まるにも拘らず何を歌っているのか？最後まで音程狂って歌う『一度だけなら』は昨年からマスターズ出場の野口。あそこまで音痴に徹すれば一芸に値する。又、聞きたいとは決して思わないが・・・

【次ページに続く】

【前ページから続く】

- レ 見かけに由らずソフトボイスの岡田は『今日でお別れ』
- レ 単調な歌唱のまま、ちょっと長過ぎの『旅人よ』は大久保（寿）
（米国留学経験者の梅本は英語で何か歌ったが、記憶なし）
- レ 高橋三白『エンヤラヤのエンヤラヤ・・・パン屋で御座る、月に一度はジャムを出す！』今ではセクハラ！

当時OBでよく指導して頂き、飲み会にも参加した諸先輩は・・・

- レ 鈴木靖二先輩『#どうせ惚れるなら早稻田の学生さん㊤』
- レ 中田正剛先輩、自分の歌声に一人酔いながら『ラノビア』
- レ 高林先輩『ヨイトマケノの唄』よく飲み連れて頂きました
- レ 『人生劇場』印半纏を「いんばんてん」と唄い、沼田では「いんばん」と読むと言いつづけた高野。
その後誰も高野とは呼ばず「インバン」と改名
- レ 数年後輩の大久保(和)は三波春夫の名曲『俵星玄蕃』は見事!20分以上掛かるので終りの方は誰も聞いていなかったが

そして、最後は声高らかに『都の西北』の大合唱とエールでお開き。70年近い人生の中で中身の濃い4年間でした。日々薄れ行く私の記憶に残るベストアルバム故、紹介出来なかった先輩方々には大変失礼いたしました。

鷺田徹夫（S49卒）

一年生との対話会を開催

7月14日、サイゼリヤ西早稻田店にて1年生との対話会を開催しました。

部員は修了～イギリスへの帰国間近のルーク・モファット君（国際教養学部）と昨年授業のため参加できなかった橋本拓実君（社会科学部2年）を含め11名、OBは志田会長はじめ4名が参加。

志田会長からは部の歩みや当会の役割を、また参加OBそれぞれが現役だったころの様子や出来事、競技・部活を通じて学んだことなどフランクにお話しました。

また部員からは日ごろのトレーニングの様子や生活環境について教えてもらい、授業や部活に支障なく取り組んでいるか確認させてもらいました。

早稻田ウエイトリフティングの価値伝承の一環として毎年1年生との対話会・4年生との対話会を開催しています。今後もOB・OGによる傾聴・フォローの機会として実施していきます。



訃報

8月、牛島貞夫先輩（S33卒）が永眠されました。

長年にわたる当部ならびに当会へのご支援に対し心から感謝申し上げ、哀悼の意を捧げます。

第29回バーベル会結果

9月20日、千葉カントリークラブ川間コースにおいて第29回バーベル会（早慶重量挙OB親睦ゴルフ会）が開催されました。当日は好天に恵まれ皆のびのびとプレーを楽しむことができました。

慶應重量挙三田会から8名、探球会から11名、計19名がエントリーし5組に分かれてラウンド。競技方法は恒例の完全ホールアウト方式で、両校上位5名のストローク合計による団体戦と新ペリア方式による個人戦が行われました。

プレー後に表彰式・懇親会が行われ、団体戦は慶應511ストロークに対し早稲田466ストローク。45ストローク差で早稲田が勝利し、通算成績は早稲田17勝、慶應12勝となりました。個人戦は上野稔先輩（S45卒）が初優勝。ベストグロスには88ストロークで森武彦先輩（S45卒）でした。

なお、探球会は以下のとおり幹事が交代となります。

新・幹事長 藤田和雄（S44卒）

新・幹事 上野稔（S45卒） 新・幹事 森武彦（S45卒）

以上3名で実施します。田口薫先輩（S42卒）には長年の幹事対応、誠にご苦労さまでした。

探球会では新規メンバーを募集しています。バーベル会を含め年に2～3回開催しますので、ゴルフの経験がある方、まだ始めたばかりの方も親睦を深めるため、ぜひご参加ください。

藤田和雄（S44卒）

山内俊夫先輩「旭日重光章」を受章

平成29年春の叙勲において昭和44年卒・山内俊夫先輩（元 文部科学副大臣／元 参議院議員）が議案審議功勞により「旭日重光章」を受章されました。一同、心よりお祝い申し上げます。



常陽カントリー倶楽部にて／手前向かって一番左が山内先輩

写真は7月4日に開催された探球会の参加者集合写真です。

この日、山内先輩は4月に開催された総長招待祝賀会（前年度に各方面で活躍された校友の功績を称える式典）で贈呈された高級ワインをコンペ優勝の賞品にと持参してくださいました。

しかし、コンペの結果は見事に山内先輩が優勝。ご本人曰く「ワインは嗜まないのだ」と、他の参加者に振る舞われました。

年会費納入のお願い

早稲田大学ウエイトリフティング部の運営ならびに選手の育成・強化のため、また勧誘活動・受験指導のため、当会からの経済的支援が不可欠です。年会費の納入がまだお済みでない方はお振り込みをお願いします。

納期：	2018年度分は2018年12月末までに（なるべくお早めに）お振り込み願います。		
振込額：	卒業4年目以降：12,000円 卒業3年目まで：10,000円		
振込先：	金融機関／支店	=	みずほ銀行 新宿新都心支店
	科目／口座番号	=	普通 8220922
	受取人名	=	トウモンウエイトリフティングクラブ